B1FH-6181-01-00
㋐ 0002-1

電源を入れる前に

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本サーバには、OSのインストールから必須のソフトウェア、ドライバ類を簡単にインストールできる「ServerWizard」が添付されています。
本書は、ServerWizardを使ってセットアップするときの設置から運用までの流れを示しています。
カスタムメイドサービスで製品をご購入された場合は、「GRANPOWER5000 MS600 カスタムメイドサービス実装・設定情報」も併せて参照してください。
本書では、デスクサイドタイプを例に説明しています。

セットアップの流れ

1. 梱包物／添付品／各部の名称を確認する
2. 設置場所を確認する
3. 内蔵オプションを取り付ける
4. 周辺装置を取り付ける
5. 電源を入れて、ハードウェアを設定する
6. OSと必須ソフトウェアをインストールする
7. その他の作業
8. システム設定情報を退避する
9. 運用開始

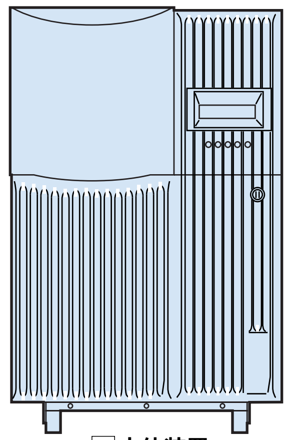
1 梱包物／添付品／各部の名称を確認する

梱包物／添付品の確認

本サーバのマニュアル
- □取扱説明書
- □セットアップガイド(本書)
- □保証書

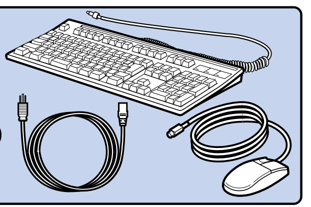
設置時に必要なもの
- □キャスターホルダー
- □フロントカバー／サイドカバーキー（4個）

内蔵オプション接続時に必要なもの
- □リストストラップ
- □RCI終端抵抗（2個）
- □RCI分岐コネクタ（1個）
- □ラベル（5枚一組×2）



□本体装置

周辺機器接続時に必要なもの
- □キーボード
- □マウス
- □電源ケーブル（2本　本体装置用）



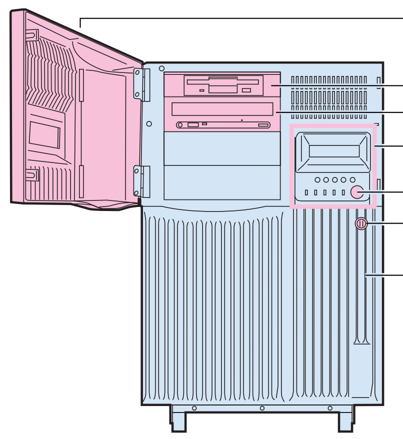
各種ユーティリティ設定／確認時、およびOSと必須ソフトウェアのインストールに必要なもの
- □ServerWizard CD
- □Windows NTをインストールしよう!
- □GRANPOWER5000シリーズ ソフトウェアガイド
- □LANドライバディスク

システム設定情報の退避時に必要なもの
- □BIOS Environment Support Tools

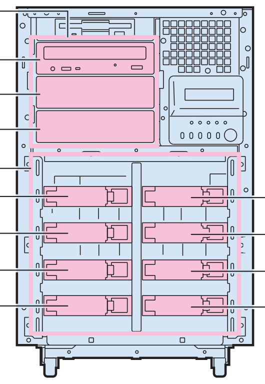
ご購入されたタイプによっては、その他の添付品もあります。
取扱説明書 >>>「2.1　梱包物の確認」

各部の名称の確認

サーバ本体前面



サーバ本体内部

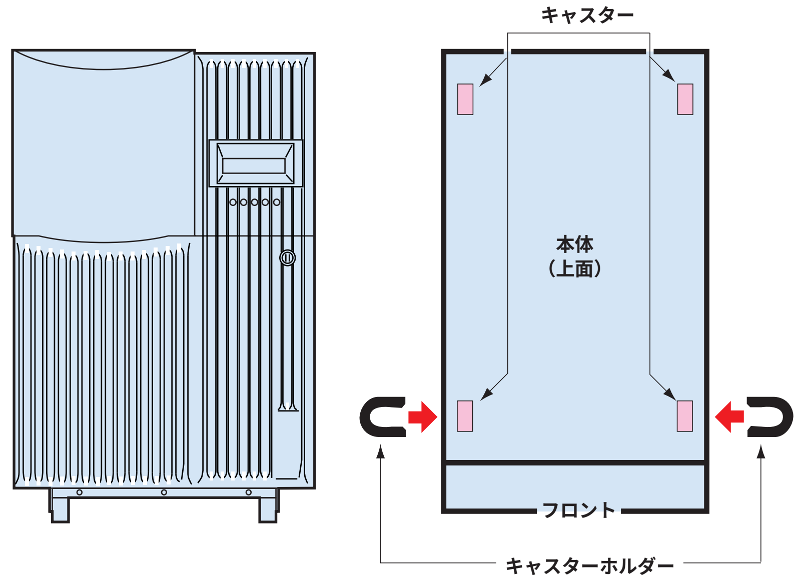


（8台ケージ）

2 設置場所を確認する

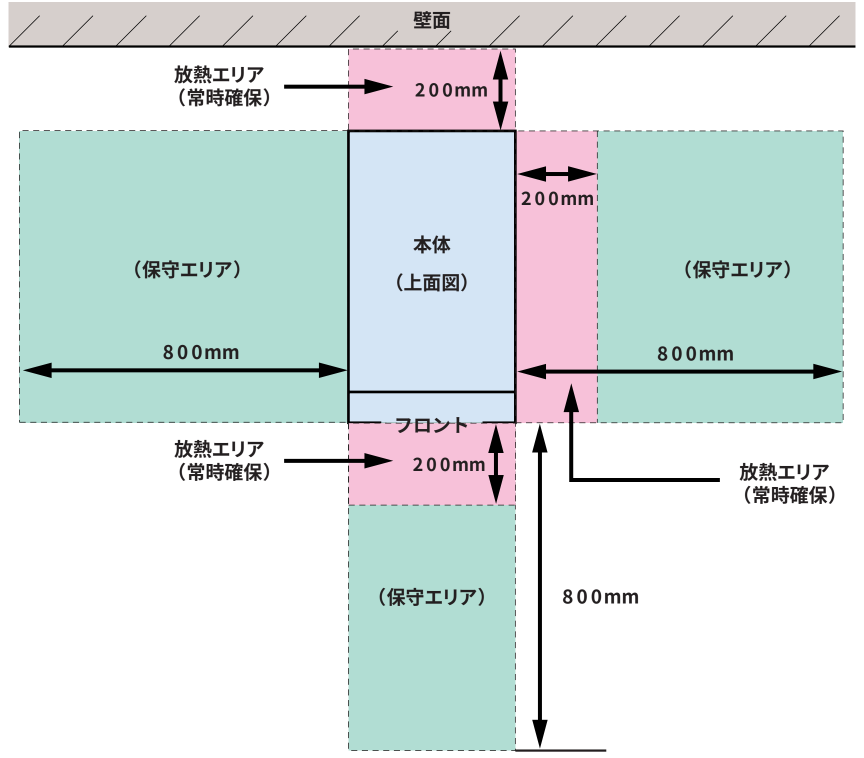
取扱説明書 >>>「2.2 設置場所に関する注意」

設置例



設置スペース

サーバを設置するときは、以下のスペースを確保してください。



設置環境

温 度

本サーバは、以下の環境条件を守ったうえで運用してください。環境条件を外れた設置環境での運用は、本サーバの故障や寿命を著しく短縮する原因となります。
- ー温度（10～35℃）
- ー湿度（20～80%）
- ー塵埃（オフィス環境:0.15mg／m^3）

3 内蔵オプションを取り付ける

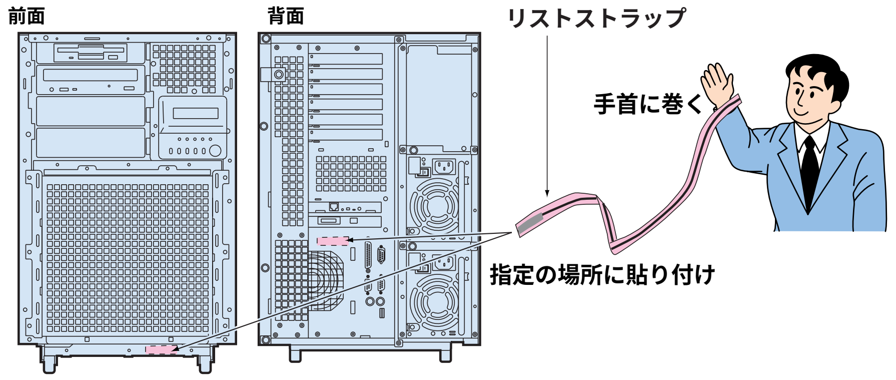
取扱説明書 >>>「第5章　内蔵オプションの取り付け」

カスタムメイドサービスをご利用になって購入された場合は、すでに内蔵オプションの取り付けおよび設定がされています。

準備する

内蔵オプションを取り付ける前に、以下のものを準備してください。
- ・取扱説明書
- ・『GRANPOWER5000シリーズ ソフトウェアガイド』
- ・プラスドライバ
- ・リストストラップ

重要 内蔵オプションは、基板や半田づけした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、リストストラップを必ず着用してから作業を行ってください。

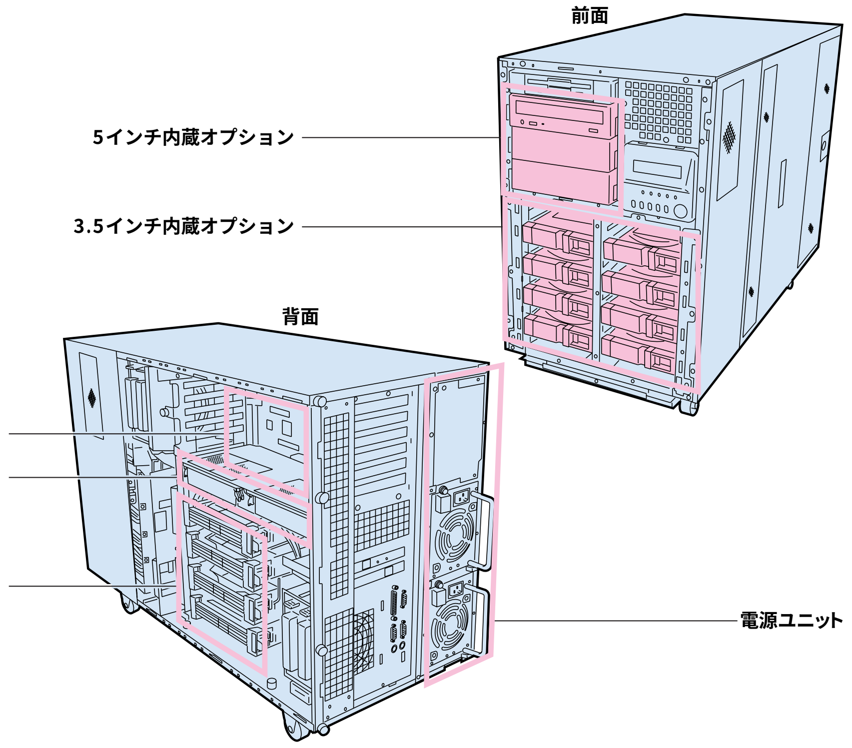


内蔵オプションの種類

ServerWizardを使ってセットアップするときは、基本的な内蔵オプションはServerWizardを使う前に取り付けることができます。
ただし、以下の内蔵オプションは、ServerWizardを実行した後で取り付けてください。
- ・暗号プロセッサカード（GP5-CP101）
- ・OSをインストールしないハードディスクユニット

なお、ServerWizardを使う前に取り付けることのできない内蔵オプションは、変更されることがありますので、以下のマニュアルを参照してください。
ServerWizard >>>『GRANPOWER5000シリーズ ソフトウェアガイド』の「第1部 第1章　ServerWizard V2.0の概要」

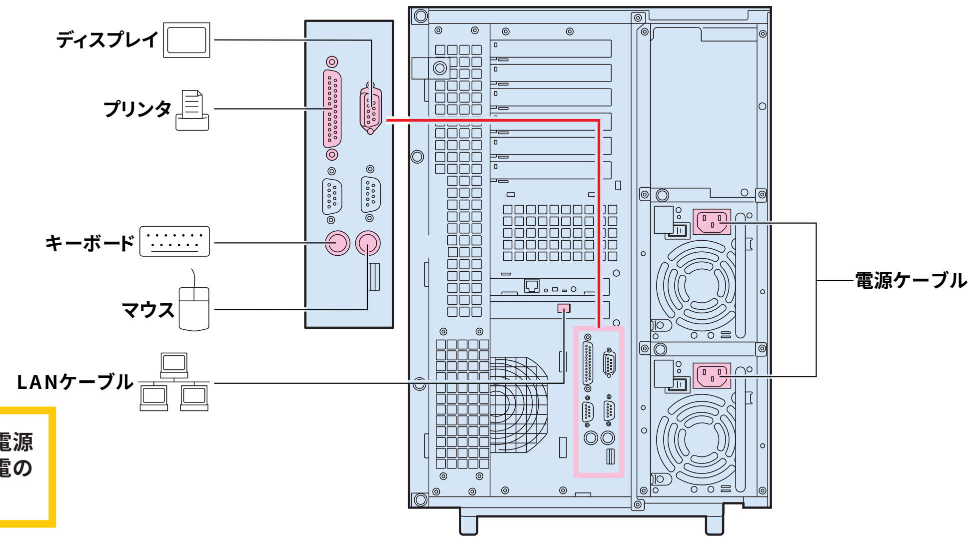
内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。
取扱説明書 >>>「第5章　内蔵オプションの取り付け」
その他 >>>『各オプション装置の取扱説明書』



4 周辺装置を取り付ける

各周辺装置を取り付けます。

取扱説明書 「2.3　接続方法」



⚠警告　感電　各周辺機器を接続するときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルを本サーバから取り外してください。感電の原因となります。

5 電源を入れて、ハードウェアを設定する

必要に応じて、取り付けた内蔵オプションの設定／確認を、以下のユーティリティで行います。

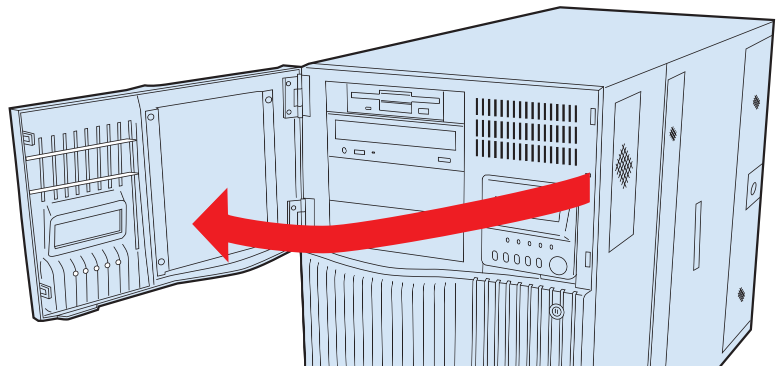
BIOSセットアップユーティリティ
起動ドライブやパスワードの設定を、BIOSセットアップユーティリティで設定／確認します。
取扱説明書 「4.3　BIOSセットアップユーティリティを使う」

SCSIコンフィグレーションユーティリティ
使用する内蔵ハードディスクおよびインストールするOSによって、オンボードSCSIの設定を設定／確認します。
取扱説明書 「4.4　SCSIコンフィグレーションユーティリティを使う」

システムセットアップユーティリティ（SSU）
オプションカードを取り付けた場合に各オプションカードに割り当てる資源を、SSUで設定／確認します。
取扱説明書 「4.5　システムセットアップユーティリティを使う」

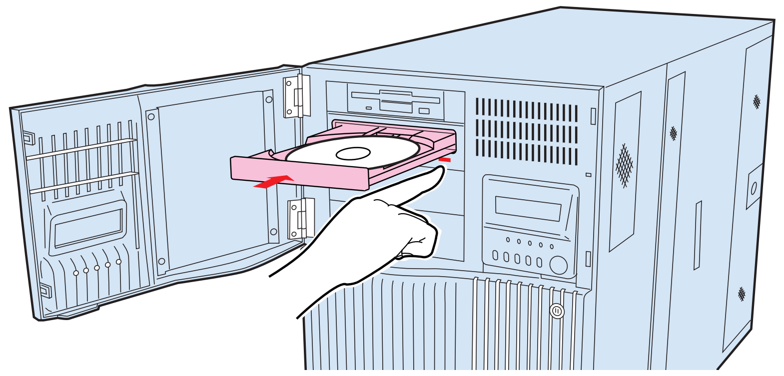
電源の投入／ServerWizard CDのセット

1 フロントドアを開けます。
フロントカバーキーを左側に回します。
フロントドアの右側に手をかけ、手前にひきます。



2 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

3 電源を投入し、ServerWizard CDをセットします。
サーバ本体前面の電源スイッチを押します。
すぐに、CD-ROM取り出しボタン（EJECT）を押し、ServerWizard CDをセットします。



この後すぐに、各ユーティリティを起動します。

SSUを起動する

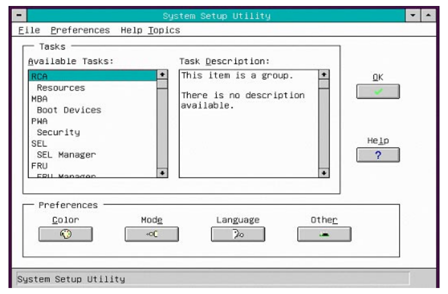
SSUは、以下の場合に起動します。
－システム資源（I/O ポートアドレス、メモリアドレス、割り込みレベル、DMAチャネル）を管理する場合
－BIOSの一部機能をセットアップする場合
－セキュリティを設定する場合
－システムイベントを管理する場合
取扱説明書 「4.5　システムセットアップユーティリティ（SSU）を使う」

■起動方法

1 電源を投入し、ServerWizard CDをセットします。

2 画面に「MS-DOS 6.2 Start Menu」が表示されたら、「2.System Setup Utility」を選択し、[Enter]キーを押します。

3 「Press any key...」と表示されたら、任意のキーを押します。SSUメインメニューが表示されます。

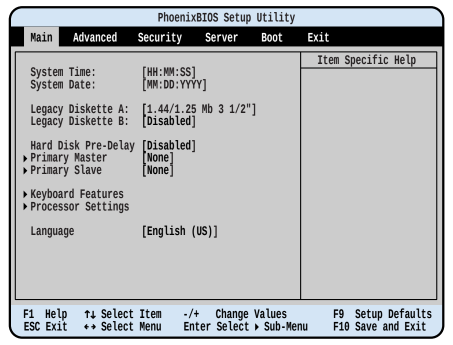


BIOSセットアップユーティリティを起動する

BIOSセットアップユーティリティは、以下の場合に行います。
－シリアルポートなどの働きを設定する場合
取扱説明書 「4.3.6 Advancedメニュー」の「●I/O Device Configuration」
－パスワードの設定を行う場合
取扱説明書 「4.3.7 Securityメニュー」
－本サーバを起動するドライブを変更する場合
取扱説明書 「4.3.9 Bootメニュー」
－POST(Power On Self Test)中にエラーが発生した場合
取扱説明書 「4.3　BIOSセットアップユーティリティを使う」

■起動方法

電源投入後、画面に「Press <F2> to enter setup」が表示されたら、[F2]キーを押します。
BIOSセットアップユーティリティが起動します。

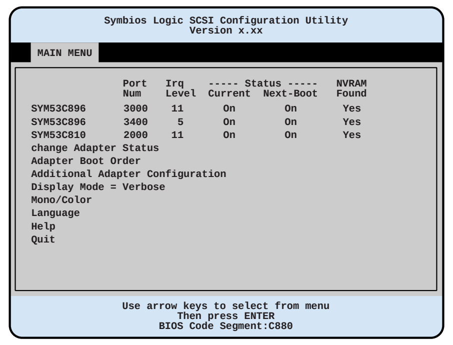


SCSIコンフィグレーションユーティリティを起動する

SCSIコンフィグレーションユーティリティは、以下の場合に行います。
－本サーバ購入時に設定値を確認する場合
－SCSIコントローラやSCSIオプションの設定の変更や確認を行う場合
－SCSIオプションの物理フォーマット、または媒体検査を行う場合
取扱説明書 「4.4　SCSIコンフィグレーションユーティリティを使う」

■起動方法

電源投入後、画面に「Press Ctrl - C to setup Symbios Configuration Utility...」が表示されたら、[Ctrl]+[C]キーを押します。
SCSI コンフィグレーションユーティリティが起動します。
目的のメニューを選択し、[Enter]キーを押します。



6 OSと必須ソフトウェアをインストールする

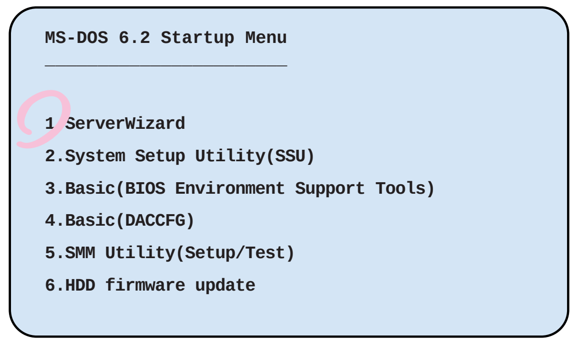
ServerWizardを実行します。ServerWizardを実行すると、OSのインストールおよびシステムに必須のソフトウェア（Servervisorなど）がインストールされます。
ここでは、ServerWizardの直接インストールについて説明しています。

取扱説明書 「6.4 Servervisor／Intel®LANDesk®Server Manager について」
「6.6 RAS支援サービスについて」
ServerWizard 『Windows NTをインストールしよう!』の「直接インストール（5ページ）」
『GRANPOWER5000シリーズ ソフトウェアガイド』
「Servervisor／LDSMのオンラインマニュアル」

■起動方法

1 電源が投入され、ServerWizard　CDがセットされていることを確認します。

2 画面に「MS-DOS　6.2　Startup　Menu」が表示されていることを確認し、「1.ServerWizard」を選択し、[Enter]キーを押します。
ServerWizardの画面が表示されます。



7 残ったオプションを取り付ける／電源を切断する

ServerWizardを使ってOSや必須ソフトウェアのインストールが終了したら、「3 内蔵オプションの取り付け」で取り付けられなかったオプションを取り付けます。
内蔵オプションの取り付け終了後、必要であれば再度、ハードウェアの設定を行ってください。
すべての内蔵オプションが接続されている場合は、手順8へ進んでください。

重要　以下の操作手順で電源を切ってください。操作手順に反すると、データが破壊されるおそれがあります。

⚠警告　感電
●内蔵オプションを取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。
●発煙、発火などの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

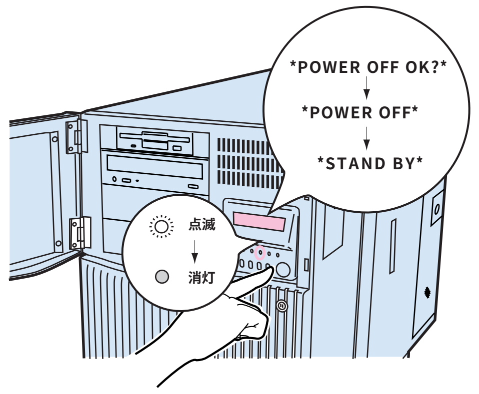
■電源切断方法

1 OSを終了し、フロッピィディスクとハードディスクのアクセスランプが消えていることを確認します。
また、フロッピィディスクドライブおよびCD-ROMドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。

2 サーバ本体前面の電源スイッチを2回押します。
1回押すと、LCDパネルに「*POWER OFF OK?*」と表示され、故障ランプが点滅します。点滅中に電源スイッチをもう1回押すと電源が切断され、LCDパネルは「*POWER OFF*→*STAND BY*」に変わります。

3 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

4 その後、その他の内蔵オプションの取り付けやその他の作業を行います。



8 システム設定情報を退避する

「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。
記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。

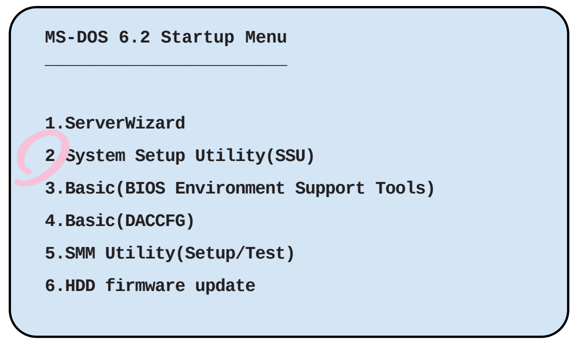
取扱説明書 「4.5 BIOS設定情報の退避／復元」
「付録B.1 コンフィグレーション・シート」

■起動方法

1 電源を投入し、ServerWizard CDをセットします。

2 「2.Basic(BIOS Environment Support Tools)」を選択し、[Enter]を押します。

3 「BIOS Environment Support Tools」ディスクをセットします。
次のコマンドを入力し、システム設定情報を退避します。
A:\>b:　[Enter]
B:\>rconf　[Enter]



9 運用開始

これでセットアップが終了しました。

本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000